

# 【意見交換会】 日豪Liveable & Well-being Cityフォーラムでのレセプション開催 (オーストラリア・ビクトリア州)

開催日: 令和5年1月30日

場 所: 在メルボルン総領事公邸

主 催: 在メルボルン総領事館、日本経済新聞社

参加者: (日本側) 加古川市、東京大学、名古屋大学、住友林業、NTT都市開発、  
スマートシティ・インスティテュート(SCI-Japan) 等

(豪州側) ビクトリア州、メルボルン市、ロイヤルメルボルン工科(RMIT)大学、  
豪日経済委員会、ビクトリア州豪日協会 等

在メルボルン総領事館

## 【概要】

- 本年1月、メルボルンにおいて、日本経済新聞社、SCI-Japan及びRMIT大学が共同で、スマートシティや都市脱炭素化をテーマとした「日豪Liveable & Well-being Cityフォーラム」を開催。
- 今回のフォーラム開催に当たって、日本経済新聞社及びSCI-Japanと協力し、フォーラム終了後に参加者間の更なるネットワーキングの機会として、総領事公邸においてレセプションを開催。
- 「最も住みやすい都市」ランキングでもトップクラスに位置する都市であるメルボルン市は、「ウォークアブル・シティ」としても注目を集めており、先進的なスマートシティの取り組みが行われている。
- SCI-Japanは、Liveable Well-Being City指標を開発し、デジタル田園都市国家構想のもと日本政府と自治体への普及を推進している。
- フォーラム及びレセプションでは上記取り組みが紹介されたほか、持続可能なスマートシティ、ゼロエミッション社会の実現に向けた都市脱炭素化の地域・都市連携やビジネスマッチング機会の創出などについても議論された。
- フォーラム参加者(上記)等が引き続きレセプションに参加し、スマートシティや都市脱炭素化に向けた意見交換等が行われた。
- 地域間・都市間でのLiveable Well-Being City(スマートシティ)や都市脱炭素化協力によるゼロエミッション社会の実現に向けた連携は、新たな日豪間のパートナーシップ構築となり、日豪関係の更なる強化に繋がるものと期待される。

